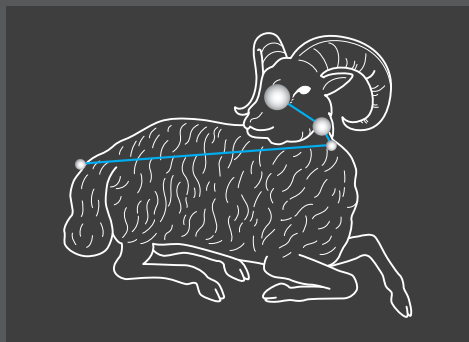




おひつじ座

アンドロメダ座のすぐ南に、細長い二等辺三角形のように見える星座、さんかく座があります。そのさんかく座のすぐ南よりに、やや形をくずした三角形で、「へ」の字を裏返したような形になっている星があります。それが、今回ご紹介する「おひつじ座」の頭の部分になります。「おひつじ座」は、空を飛ぶ金毛の牡羊の姿をあらわしています。暗い星をつなぐため、牡羊の胴体は頭部とプレアデス星団の間に横たわっていると見当をつけるしかありません。この「おひつじ座」は、2000年以上前のギリシア時代には重要な星座として注目されていました。その理由は、現在ではうお座の「西の魚」近くにある春分点が、この「おひつじ座」にあったからです。そのなごりとして、春分点を「白羊宮の原点」と呼んだり、羊の頭のイメージを表すマークを使ったりしています。

「おひつじ座」は金色の毛をもつ空飛ぶ牡羊として、次のような物語が語り継がれています。テッサリアの王であるアタマスには、プリクソス王子とヘレー王女という二人の子供がいました。その二人の存在を、よく思わない人物がいました。それがアタマス王の2番目の妻であるイーノです。イーノの策略で、二人は命を狙われてしまいました。そんな二人の前に現れたのが、毛が金色に輝く空を飛ぶ牡羊でした。この牡羊は、大神ゼウスが二人を助けるために送ったものでした。プリクソス王子とヘレー王女はその羊の背に乗って、黒海の岸コルキスの国に向けて飛びました。しかし、あまりにも速く高く飛んだため、残念ながらヘレー王女は海に落ちてしまいました。プリクソス王子は無事にコルキスへたどり着き、親切にもてなされました。このときの羊が、その後、大神ゼウスによって星座となったとされています。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）

今月の見どころ星どころ ふたご座流星群

文・浜松市天文台
村松 大河

2025年も残すところあとわずかになりました。今年最後の流星群が夜空を彩ります。それが「ふたご座流星群」です。ふたご座流星群は、年間三大流星群に数えられ、出現期間は12月5日から19日の間になります。極大を迎えるのは14日の17時ごろで、14日の宵から15日の未明にかけて、見ごろになります。この日の月は、下弦を過ぎた細長い月になるため、月明かりの影響はわずかです。

今回の流星群の放射点は、二等星である、ふたご座のカストルのそばにあります。「放射点」とは、流星群に属する複数の流星の経路をたどったとき、交差する1点のことです。流星群の名前は、この放射点がある星座の名前を用います。つまり、今回の流星群はふたご座に放射点があるため、「ふたご座流星群」という名前で呼ばれています。

放射点について話をしましたが、放射点周辺に流星が多く飛ぶわけではありません。流星群を観察するときは、空全体をまんべんなく眺めることが大切です。防寒対策をしながら、全天が見渡せる場所で流星群を楽しみましょう。天文台でもイベントを企画していますので、皆様のお越しをお待ちしています。

参考図書：星空年鑑 2025（アストロアーツ）



星空クイズ

1990年12月2日、初めて日本人が宇宙へ行きました。当時TBSテレビの社員だったその方は、旧ソ連のソユーズTM11号で宇宙へ行き、宇宙船ミールに乗り込んで6日間滞在しました。では、その人の名前は？

- A 毛利衛さん
- B 秋山豊寛さん
- C 向井千秋さん

答えは中面へ

星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

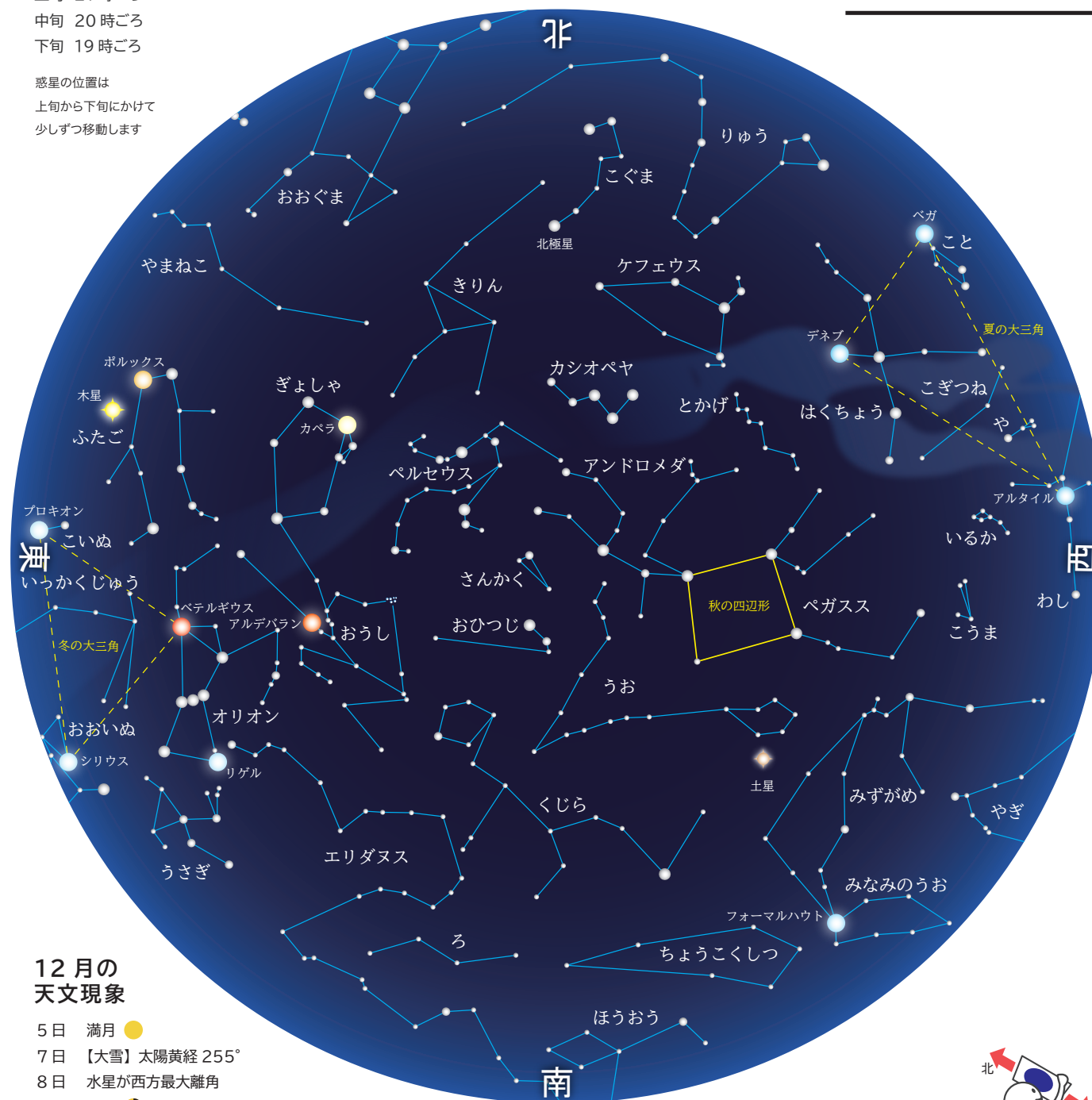
2025年12月

上旬 21時ごろ

中旬 20時ごろ

下旬 19時ごろ

惑星の位置は
上旬から下旬にかけて
少しずつ移動します



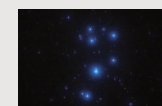
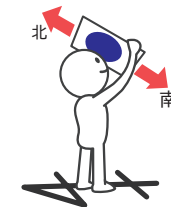
12月の天文現象

- 5日 満月 ●
- 7日 【大雪】太陽黄経 255°
- 8日 水星が西方最大離角
- 12日 下弦 ●
- 14日 ふたご座流星群が極大
- 20日 新月 ●
- 22日 【冬至】太陽黄経 270°
- 28日 上弦 ●
- 31日 プレアデス星団の食

2025

12

上の星図は、空にかざして
実際の方角と合わせてご覧ください。





浜松市天文台

イベント情報

天文台ウェブサイトよりお申込みください。

OK 天候不良開催 NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら



12/6・13
20・27

星空観望会

宇宙へのとびら in はままつ

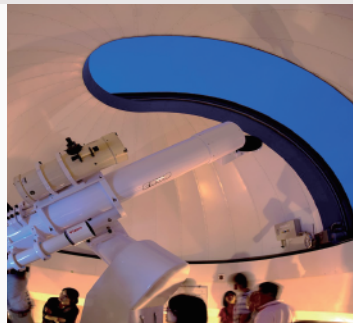
季節の星座・星雲・星団、月、惑星などを観望します。

土
NG

時間 18:30～20:30

会場 天文台屋上

申し込み 開催日3日前の水曜13時から受付（30分ごと先着20組）



12/6 天文ミニ講座

土
OK

時間 17:30～18:20

会場 2F 講座室

申し込み 12/3（水）13時から受付（先着6組）



12/7 太陽・昼間の星観望会

日
NG

時間 14:00～16:00

会場 天文台屋上

申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



12/13・14 天文台まつり 天文工作

土 日
OK

時間 13日：13:00～16:00 / 14日：9:00～12:00

会場 天文台ホール

材料費 無料

申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



12/13 ふたご座流星群観望会

土
NG

時間 21:00～23:00

会場 天文台屋上

申し込み 11/26（水）13時から受付（先着30組）



12/14 天文台まつり 太陽・昼間の星観望会

日
NG

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、昼間に見える天体を観察します。

時間 12:00～14:00

会場 天文台屋上

申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



12/21 星と景色の写真講座

日
OK

三脚と一眼レフカメラで、星の写った風景写真を撮影するための入門講座です。

時間 18:30～21:00

会場 2F 講座室

申し込み 12/10（水）13時から受付（先着6組）



裏面のクイズの答え：正解は、B（毛利さんは日本人として初めてスペースシャトルに乗って宇宙へ行った宇宙飛行士です。）

第44回 ゆめいっぱい小学生 宇宙絵画展

作品募集

「宇宙」をテーマにした絵画を大募集。
宇宙への夢をお待ちしています。

応募期間

2025年

2026年

12月12日（金）～1月8日（木）必着

作品条件

四つ切り画用紙の平面作品
未発表のもの / 縦・横どちらも可

応募はこちらから！

応募方法

電子申請後、作品を天文台に提出（持参または郵送）

